



## 歯周病になりやすい犬種は？

### ■ 歯周病※1 品種別発症率（犬、0～10歳平均）

犬の0～10歳の契約を対象として、給付金請求データをもとに歯周病発症率を調査した※2ところ、人と同様に加齢により発症率が高まることが分かった(アニコム家庭どうぶつコラムvol.012)。そこで、品種別に調査したところ、**犬全体の歯周病発症率が1.4%であったのに対し、イタリアン・グレーハウンドは、15.1%と高い発症率を示した。**

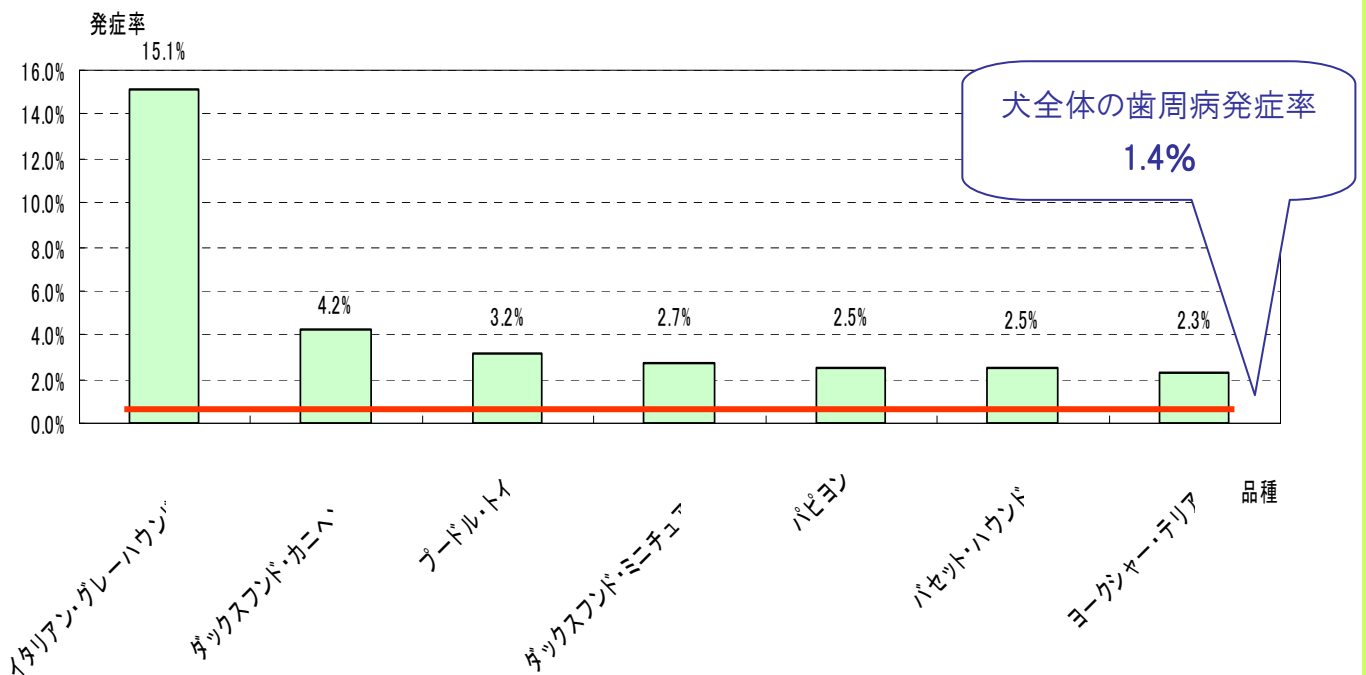
続いて、ダックスフンド(ミニチュア、カニヘン)、トイ・プードルが高い歯周病罹患率を示していた。

「いい歯」ですごさせてあげるために、これらの品種では特にご家族によるオーラルケアが重要といえる。

※1 「歯周病」には、「歯肉炎」「歯槽膿漏」「歯垢」「歯石」も含めた。

※2 2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった犬681,039頭(男の子364,423頭、犬の女の子316,616頭)を対象に調査。

【図】歯周病 品種別発症率(0-10歳平均)



わんちゃんの歯周病。

イタリアン・グレーハウンド

ダックスフンド (カニヘン、ミニチュア)

トイ・プードル

は、特に注意が必要！

